



《報道発表資料》

キャッチネットワーク
開局25周年記念事業

チームラボ 浮遊する、呼応する球体とお絵かき水族館 inデンパーク presented by キャッチネットワーク

CNCIグループの株式会社キャッチネットワーク（本社：愛知県刈谷市、代表取締役社長：森 雅博、以下「キャッチ」）は、2017年12月、おかげさまで開局25年を迎えます。地域に密着したテレビ局として、これからもこの街のすべての皆さまとつながっていくために、この度、安城産業文化公園デンパーク協力のもと、「チームラボ」による体感型のアート作品展を開催することとなりました。12月20日（水）より、チームラボのデジタルアート作品「浮遊する、呼応する球体」、「お絵かき水族館」を展示。夜のデンパークがインタラクティブなデジタルアート空間へと変化します。世界に数々の驚きと感動を与えたチームラボのデジタルアートをぜひ、ご体感ください。

◆イベント概要

会期：2017年12月20日（水）～12月31日（日） ※31日は「西三河願いごとカウントダウンフェスタ」内での実施となります。

12月20日（水）～30日（土） 16時30分～21時 / 31日（日） 19時～23時30分

会場：安城産業文化公園デンパーク（愛知県安城市赤松町梶1）

入場料（デンパーク入園料）：大人600円 小中学生300円 ほか

展示詳細：teamlab.art/jp/e/denpark



お絵かき水族館

この水族館は、みんなが描いた魚たちが泳ぐ水族館です。紙に自由に魚の絵を描きます。すると、描いた絵に命が吹き込まれ、目の前の巨大な水族館で、みんなが描いた魚と共に泳ぎ出します。泳いでいる魚は、触れることもでき、触れられた魚は、いっせいに逃げ出します。エサ袋に触ることによって、魚にエサをあげることもできます。

teamLab, 2013-, Interactive Digital Installation, Sound: Hideaki Takahashi, teamLab

浮遊する、呼応する球体

浮遊する光の球体は、自律し、強く輝いたり消えたりと、まるで呼吸しているかのようにふるまいます。球体は、人が叩いたり何かにつぶかったりして衝撃を受けると、光の色を変化させ、色特有の音色を響かせます。そして、その近隣の球体が呼応し、同じ光の色に変化して音色を響かせると、そのまわりの球体も次々に呼応していきます。

teamLab, 2015, Interactive Installation, Endless, Sound: Hideaki Takahashi



チームラボとは？

プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジー集団。アート・サイエンス・テクノロジー・クリエイティビティの境界を曖昧にしながら活動している。47万人が訪れた「チームラボ踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地」他、シリコンバレー、台湾、ロンドン、シンガポール等、国内外でアート展を開催。

本件に関する問合せ先

株式会社キャッチネットワーク コンテンツ制作本部 メディア広報課 宮田 美穂

電話：0566-27-2206 FAX：0566-27-5556 e-mail：miyata@katch.co.jp